

「戦争法案」阻止へ 私も行進

無職

(和歌山県 74)

安全保障関連法案に反対の声が大きくなる中、安倍政権は衆院で強行採決も辞さぬ構えです。

幼い頃、大阪の堺で空襲から逃れ、川に死体が折り重なるのを見て戦争の怖さを体験した私は、心からこの「戦争法案」を廃案にしたいと思います。生きるために生まれてきて、殺されたり殺したりはもつてのほかです。各地の人たちが安保法制に反対の声をあげているニュースに接し、私もどこかへ駆けつけたいと思っていました。

12日、和歌山弁護士会が主催の「憲法違反の『安保法制』に反対

する7・12和歌山大集会&パレード」に参加しました。暑さの中、和歌山城内に約2500人(主催者発表)が集合。出発前、色々な立場の方からあいさつがあり、自民党員という年配女性の「二度と戦争してはいけない」という声に感動しました。

先日、陸上自衛隊員に「遺書」も受け取れるような家族への手紙を幹部が書かせていたと一部で報じられました。自衛隊員に「覚悟」を持つことが進められているのでしょうか。安保法制で米国の戦争に協力するのではなく、憲法9条に守られる日本の平和を永久に守りたいと思っています。